

令和6年6月26日

長野県知事 様

## 令和6年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	令和4年度から令和6年度	
会社名	原建設株式会社	
住所	〒399-4511 上伊那郡南箕輪村3898番地1	
代表者名	代表取締役 原 武光	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	企画室	
担当者名	増澤信夫	
連絡先	TEL	0265-72-1010
	FAX	0265-78-4448
	電子メールアドレス	<a href="mailto:masuzawa@hara-ken.com">masuzawa@hara-ken.com</a>
ホームページアドレス	<a href="http://www.hara-ken.com">http://www.hara-ken.com</a>	

## 1 産業廃棄物3R実践方針

建設工事及びその運営において、産業廃棄物の排出抑制、再使用、再生利用に取り組み、産業廃棄物に対する意識の向上を図ります。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m <sup>3</sup> )	900.00	4215.087	275.934	471.71
リサイクル量の推移 (t・kg・m <sup>3</sup> )	800.00	3717.588	147.555	389.01
売上高の推移 (千円)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	7,000,000

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・ 事務所ごみの削減に取り組む。（コピー用紙裏紙利用、ダンボールの資源ごみ化）
- ・ 分別排出を再徹底する。（混載排出の削減）
- ・ 現場搬入資材のプレカットを推進し、現場発生は材の削減に取り組む。
- ・ 長野県SDGs推進登録認定企業として、環境カテゴリのチェック項目の具体的な取組を実践していく。
- ・ 使用材料は特段の指定がない限り、リサイクル品を選定するようにする。
- ・ 社内会議の際に上記の内容を定期的に周知していく。

以下の観点も参考としていただいて構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・ 産業廃棄物処理責任者等
  - ・ 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
  - ・ 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
  - ・ 処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
  - ・ 従業員教育（研修）計画
  - ・ リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
  - ・ 処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
  - ・ 不適正処理を発見した場合の協力体制
  - ・ 自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
  - ・ 独自に取り組む事項
- 代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	6年度目標値	5年度実績値	4年度実績値	3年度実績値
再生砕石	100	100	100	100
再生アスファルト	100	100	100	100
全体	100	100	100	100